

歴史教育者協議会近畿ブロック研究集会

一次案内

in 和歌山

新学習指導要領に向き合う私たちの実践 -今求められる学び・評価-

今年度高等学校でも新学習指導要領が実施され、新たに「地理総合」「歴史総合」「公共」が順次始まっています。すでに実施されている小中においても、「主体的・対話的で深い学び」、新しい評価方法、ICT化など変革の波が押し寄せています。

教育現場ではこれらに対応する中で、ともすれば活動することが目的化した授業、評価のための評価など形式的なものに陥る危険性があるのではないのでしょうか？

こうした時だからこそ、今一度これまでの実践を見つめ直しながら、何を大切にすべきなのか語り合うことができればと思っています。

例年と比べるとかなりコンパクトな集会になりますが、オンライン参加も可能ですので、多くの方の参加をお待ちしています！

11月27日(日)
13:00~16:30

和歌山大学附属中学校
+オンライン



和歌山市雑賀崎

パネルディスカッション

小学校 未定
中学校 山口康平さん（和歌山県歴教協）
高校 未定

※各校種から30分程度報告のあと討論。参加人数によりグループでの討議もあり。

※申し込みは各県事務局長さんへ。

問合せ

和歌山県歴教協事務局

田城賢司

090-2381-3485

tashimaki1@gmail.com